

平成30年度第3回緑区支え合いのまち推進協議会議事要旨

【開催】

開催日時 平成30年12月15日（土）14:00～16:55

開催場所 緑保健福祉センター2階 大会議室

出席者 委員21名中19名出席、代理出席1名、ガイドヘルパー1名、
緑区長、千葉市保健福祉局地域福祉課1名、
事務局6名（緑保健福祉センター所長、高齢障害支援課2人、
社協緑区事務所3名）
オブザーバー1名（緑区連協会長）

【次第】

- 1 開会
- 2 議題
 広報誌「みどりのきずな第36号」の承認について
- 3 発表
 (1) 重点取組項目の進捗状況報告について（社協地区部会）
 (2) 事業活動報告について
- 4 その他
- 5 閉会

※議題に移る前に事務局より配付資料の確認、説明がなされた。なお、「緑区支え合いのまち推進計画取組状況（未定稿）」については、地域の様々な団体の活動を取りまとめたものであり、必要に応じ活用してもらいたい旨の説明があった。また、今後はホームページに掲載予定であることも説明された。

【議事及び質疑要旨】

議題 広報誌「みどりのきずな第36号」の承認について

（中村和委員）「みどりのきずな第36号」については、3,000部程度印刷し、2月上旬発行予定である。

中身については、正副委員長で確認をしているが、何か訂正等があれば12月中に事務局まで連絡願いたい。

（岡本委員長）誤字、脱字があった場合には後日連絡願いたい。内容についてはご承認いただけるか。

（全 員）異議なし

発表（１）重点取組項目の進捗状況報告について（社協地区部会）

（岡本委員長）計画の進捗状況の報告にあたり、様式を作成したので、今後はこの様式に基づいて報告をお願いしたい。

まず地区部会についてであるが、取組項目については重点取組項目を、取組内容については主に3ヵ年の目標を、取組状況については目標に対しての取組状況を具体的に記入するようになっている。また、最後に達成状況の評価が入っている。

なお、椎名地区には重点項目以外の活動という項目を設け、主に連協や民児協などの他機関との連携を記載してある。今後、他の地区についてもこの項目を入れるようお願いしたい。

（4地区部会）了解した。

（岡本委員長）地区部会以外の団体の進捗状況についても、今後同じような形で報告願いたい。具体的な内容については単年度の目標で構わない。

（松戸委員）今年度から地区連協の会長が委員となっていないことについて事務局はどう考えているのか。

（緑川所長）今回の推進協の委員選出にあたり、年度当初に事務局より地区連協の会長にお話をさせていただいたところ、今年度は委員の選出を見送りたいという意向であった。しかし、事務局としても各町内自治会が様々な福祉活動を行っていることは承知しており、この状況を打開したいとは思っている。次年度は、地区連協の会長に委員となっただけできるよう、再度お願いしていきたいと思っている。

（松戸委員）是非よろしく願いたい。

（岡本委員長）では、各地区部会より報告願いたい。

【土気地区部会】

（茂田委員）資料5-4の内容を発表。

サロン活動については、現在18カ所で実施しており、各サロンでの取組内容や支援者の情報共有に向けた体制を整えているところである。

（岡本委員長）取組状況については、可能であれば数量化していただきたい。

【おゆみ野地区部会】

（中村輝委員）資料5-2の内容を発表。

子育てサロンについては、11月と12月にも1回ずつ開催している。いきいきサロンも12月6日にも開催しており、次回は3月に「ランチの集い」題して開催を予定している。散歩クラブも11月26日にも実施している。また、実技講座についても、来年の3月にも予定している。お楽しみ会については、12月8日にも「冬のお楽しみ会」を開催している。

なお、12月18日には、小谷小学校で1年生を対象にした昔あそびの教室も行う予定である。

- (岡本委員長) 一番大きな課題として捉えているものは何か。
(中村輝委員) 子育て世代の方と高齢者との交流が課題かと思っている。
(岡本委員長) その辺の課題のことも入れていただけるとありがたい。

【椎名地区部会】

(本田委員) 資料5-3の内容を発表。

椎名地区部会としては、「4 障害者（児）が集う開設・拡充・情報提供」に力を入れており、特に次世代を担う子どもたちへの福祉教育を行っている。

見守り活動については、担い手不足や見守りが必要な方が申し出てこないといった問題も出てきており、見守り方法の工夫も必要かと思っている。

「9 重点項目以外の活動」については、14連協や民児協が主体で行っている活動についても積極的に支援していくというものである。

【誉田地区部会】

※資料5-1参照

(時田氏) 見守り活動については、誉田地区部会の見守り推進委員による推進委員会を年3回実施している。また、未実施地区には活動ガイドを配り、活動の立ち上げに向けた周知を行っている。なお、既に活動を行っている地区についても定例会議等に参加し、情報交換等を行っている。

なお、現在誉田三丁目自治会で見守り活動の立ち上げを検討しているということを伺っている。

(岡本委員長) 以上が地区部会の進捗状況の報告になるが、何か質問等あるか。

(廣田委員) 大木戸台で助け合い活動が立ち上がったようであるが、見守り活動も行っているのか。

(茂田委員) 助け合い活動は既に実施しているが、見守り活動はまだ準備段階である。

(中村和委員) おゆみ野地区のみずき・かつら街で行われている助け合い活動の料金体系はどのようになっているのか。

(中村輝委員) 立ち上げ当初は、1回の依頼につき500円をいただいていたが、現在は無料にしている。

(田宮副委員長) 作業自体は無料であるが、材料代やゴミ袋といった実費分は頂いている。

(本田委員) 当初の500円という設定は作業人数には関係するのか。

(田宮副委員長) 人数には関係なく、1回500円という設定をしていた。

発表（2）事業活動報告について

— あんしんケアセンター —

【あんしんケアセンター鎌取】

(高橋委員) 資料6-9の内容を発表。

【あんしんケアセンター誉田】

(押元委員) 前回報告させていただいた誉田二丁目町内会役員会でのミニ講座開催の9月以降の活動を報告させていただく。以下、資料6-9の内容を発表。

【あんしんケアセンター土気】

(布施委員) 10月14日に大椎台自治会で実施した認知症SOS声掛け訓練について報告させていただく。以下、資料6-10の内容を発表。

(事務局) 以上3つの発表について、ご意見、ご質問があるか。

(松戸委員) おゆみ野地区の対話会は大変好評であったので、また開催していただきたい。

(高橋委員) 主催は我々ではなかったのだが、今後もそういう機会を捉えて情報発信に努めていきたいと考えている。

(中村輝委員) 土気の認知症SOS声掛け訓練で行われた「どこシル伝言板」というのがどのようなものなのか、またの機会にでも教えていただきたい。

— 町内自治会連絡協議会 —

【第12地区連協】

(関本副委員長) おゆみ野第二団地では、避難所が遠いということもあり、災害対策を重点に捉え活動しているが、具体的な活動には至っていない。

【おゆみ野泉谷自治会】

(松戸委員) おゆみ野泉谷自治会では、平成27年度から年初に自治会会員約100世帯を対象に見守りに関するアンケートを取っている。以下、資料6-1の内容を発表。

また、これ以外にも現在、個人宅の1室を利用しての井戸端会議の場の開設を検討している。

(事務局) 以上2つの発表について、ご意見、ご質問があるか。

(岡本委員長) おゆみ野第二団地の防災訓練については自治会だけで行っているのか。

(関本副委員長) 自治会だけで実施している。防災委員を設けて、防災委員が中心に行っている。

— 民生委員児童委員協議会 —

【第501地区】

(時田氏) 資料6-2の内容を発表。

【第502地区】

(吉田委員) 資料6-2の内容を発表。

(事務局) 以上2つの発表について、ご意見、ご質問があるか。

(鴨委員) 502地区の災害についてはどんな災害を想定しているか。

(吉田委員) おゆみ野地区は比較的安全な場所で、洪水や地滑り等はあまり想定されないと思われる。我々が中心に考えているのは地震に対する備えである。

— ボランティア —

【おゆみ野女性の会】

(田宮副委員長) おゆみ野女性の会は少数の会であり、結成してから20年以上経つ。目標として自分たちが行っている活動は継続しつつ、新規活動にボランティアとして協力していくということを掲げている。以下、資料6-3の内容を発表。

また、個人的な活動ではあるが、高田町にある「しいのみ園」の施設の歌の作詞を行い、このたび歌が完成した。機会があれば聴いていただきたい。

【すこやかネットみどり】

(中村和委員) 資料6-3の内容を発表。

福祉有償運送サービス事業のマニュアル本であるが、進行状況表では60%となっているが、80%程度完成した。現在、収益を上げるための手法を模索しており、それを追加し完成に近づけたいと考えている。

また、立ち上げ支援団体の目標を3団体としているが、12月に1団体に説明を実施した。

家事救急隊については概ね順調である。

また、ふれあい福祉フェスティバルについては自分が事務局として携わっており、今年初めて区長にもご臨席を賜った。

(事務局) 以上2つの発表について、ご意見、ご質問があるか。

(関本副委員長) ふれあい福祉フェスティバルの内容を教えてもらえるか。

(中村和委員) 今年で24回目になる。土気地区の障害者団体や地域住民の方々による楽器演奏や作品展示・販売等を行っている。今年はバースモールで実施し、天気もよく盛況であった。

— 高齢・障害 —

【緑区老人クラブ連合会】

(茂庭委員) 資料6-4の内容を発表。

【千南会】

(鴨 委員) 資料6-6の内容を発表。

我々の団体は、家族会が中心となって活動している。重点目標としてはいかに会員数を増やすかということになる。現在の会員数は25～30名程度で全体の2%程度に過ぎない。家族会の役割や魅力があまり理解されていないと思われ、大きな課題として捉えている。

また、もう1つの目標としては、当事者の社会復帰や自立に向けたリハビリである。

【千葉市身体障害者連合会】

(廣田委員) 資料6-6の内容を発表。

小学校での福祉講話については、現在2020年のパラリンピックに向けて機運を盛り上げるということもあり、教育委員会が行っている事業である。我々は協力するという立場で実施しているものである。

12月1日(土)に行われた第20回障害者福祉大会の中で、内閣府が主催している「心の輪を広げる体験作文」というコンクールがある。今回、千葉市の小学生部門の最優秀賞に大木戸小学校3年生の女の子が入賞した。「気持ちでお話」というタイトルで、その子の母親が働いている保育園で出会った身体と知的の重複障害の子との交流のことが書かれている。話がうまくできない子たちにも感情があり、喜びも悲しみも表現ができるということが分かったので、これからもいろんな人たちと会い、その人たちと心で話をしていきたいという内容のとてもいい作文であった。市のホームページにも掲載されているのだが、非常に見つけにくいので、考慮してもらいたい。

また、個人的な話になるが、昨日ポートアリーナで行われているウィルチェアラグビーの全国大会を観戦してきた。千葉にもRIZE CHIBAというチームがあり、観客も1,600人も来ていて賑わっていたので、情報提供をさせていただく。

【社会福祉法人ワーナーホーム】

(三好委員) 資料6-7の内容を発表。

我々の法人の目標としては、障害福祉の充実と精神障害者も住みやすい街作りというところを目指している。計画書の作成については、240件を目標としているがまだ200件しか作成できていない。また、職員数の不足もあり、依頼があってもお断りしているような状況であり、これは課題である。

また、千葉市全体で実施している事業であるが、精神障害にも対応した千葉市地域包括ケアシステム構築推進事業というものを行っており、鎌取相談支援センターが委託事業所として中心となって実施している。緑区においては、2月に啓蒙活動として民生委員を対象に「精神障害のある方とともに地域で暮らすために知ってほしいこと(仮)」というテーマで地域ミニシンポジウムを行う予定である。今後は、それを広げていき、いろいろなところで精神障害に関する説明や制度の説明を行っていけれ

ばと考えている。

【社会福祉法くちなし セルフガーデンハウス】

(小林委員) 資料6－8の内容を発表。「取組状況4」については12月7日に実施し、8事業所から30名の方に参加いただいた。

(事務局) 以上5つの発表について、ご意見、ご質問があるか。

(岡本委員長) 千南会のおしゃべり会はどのようなことを行っているのか。

(鴨委員) 「フリースペースぶらんこ」と名付けており、精神障害者の家族の方がおしゃべりをする場を提供している。その中で我々もいろいろアドバイスをしている。場所は、たけの子工房という作業所で行っている。

(岡本委員長) ワーナーホームが行う地域ミニシンポジウムの詳しい内容を教えてもらいたい。また、鎌取相談支援センターで行っている計画書とはどのようなものか。

(三好委員) 地域ミニシンポジウムであるが、2月4日(月)の15時頃から緑保健福祉センターで行う。今回は緑区民児協の理事の方を対象に実施する。内容については、「精神障害者を取り巻く国と千葉市の動向について」、「精神障害者の地域移行支援について(現場からの報告)」、「精神障害者の方が利用できる制度や支援等について」という内容を予定している。計画書については、精神障害者とその方が利用できる様々な事業(ヘルパーが訪問してくれる事業、就労系の事業、生活介護事業等)とを結びつけていくものである。

(岡本委員長) セルフガーデンハウスが行っている中学校への福祉教育の具体的な内容を教えてほしい。

(小林委員) 土気中と越智中は2学年が対象で、双方との2クラスであったので50～60名くらいの生徒が対象であった。時間については、2時間分の事業の枠で行った。内容は、最初に職員から一般的な障害についての説明をし、その後利用者から手話ダンスの披露、その後グループによる交流、最後にまとめというような流れを行った。

(岡本委員長) 小学校でも行ってもらえるのか。

(小林委員) 5、6年生のような高学年の児童であれば、可能かと思う。

(時田氏) ワーナーホームによる地域ミニシンポジウムであるが、2月4日は緑区民児協の理事が講習を受けるが、それが各地区に普及していければいいと考えているので、よろしく願いたい。

(事務局) 次に、本日配付したチラシについて松戸委員に説明をお願いしたい。

(松戸委員) ※チラシ「昔懐かしい思い出の歌を皆さんと楽しく歌いましょう！」の内容を説明。

(岡本委員長) 今後は、目標に対しどういうことをやって、どういふ成果があつたのかということ明確にしていきたいと思う。実施した内容について皆さんと共有できるようにしていきたいと思うので、要点を押さえてまとめていただき、次の3月16日にご報告いただきたい。

その他

(中村委員) 本会終了後に広報部会を開催するので、広報委員はお残りいただきたい。

※次回は、3月16日(土) 14:00～開催。

※終了後は広報委員が集まり、広報部会を実施